

この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30～60分×4回です。

この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。

下記の黒字が今回の掲載回です。

## 入試特訓 世界地理2，古代2・中世

① 徹底整理 ヨーロッパの国々とロシア

② 徹底整理 飛鳥時代～平安時代

③ 徹底整理 鎌倉時代～戦国時代

④ 添削問題

添削問題解答解説

2

入試特訓 世界地理2, 古代2・中世

徹底整理 飛鳥時代～平安時代

30分

徹底整理 入試頻出ポイントをチェックしよう！

## 合格への一手！

飛鳥時代～平安時代について、出来事の関係性を理解しよう！

今回は、飛鳥時代・奈良時代・平安時代という3つの時代を扱います。入試では、各時代の政治や社会の特徴、文化のようすについて理解しておく必要があります。また、単純に用語を覚えるだけでなく、「摂関政治期に藤原氏が勢力をもった理由」「武士はなぜ生まれたのか」など、出来事の原因や理由、影響といった内容についても確認しておくことが重要です。

- 飛鳥・奈良・平安時代の政治のしくみはどのように発展したのか？
- 各時代の文化には、どのような特徴や違いが見られるか？

上記の2点を軸に、これからの学習では常に理由や原因、違いといった関係性を意識しながら、入試で必要となる知識を深めていきましょう。

## 覚えている度チェック

次の語句を説明できますか？ にチェックを入れましょう。

- |                                 |                                |                               |                                  |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十七条の憲法 | <input type="checkbox"/> 公地公民  | <input type="checkbox"/> 壬申の乱 | <input type="checkbox"/> 墾田永年私財法 |
| <input type="checkbox"/> 『風土記』  | <input type="checkbox"/> 平安京   | <input type="checkbox"/> 最澄   | <input type="checkbox"/> 関白      |
| <input type="checkbox"/> 国風文化   | <input type="checkbox"/> 平将門の乱 | <input type="checkbox"/> 院政   | <input type="checkbox"/> 日宋貿易    |

説明できる語句の数が、

- 12すべて ⇨ **徹底演習**へ進んでもOK。
- 11～6 ⇨ 今回は**徹底演習**へ進んでもOK。但し、時間に余裕がある時に、**徹底整理**にも取り組んでおきましょう。
- 5以下 ⇨ **徹底整理**のまとめを読みながら、空欄にあてはまる語句や数字を書きましよう。次に**徹底演習**へ進みましょう。

## 年表で確認～今回の学習範囲はココ！～

次の年表を見て、飛鳥時代～平安時代について、全体の流れを押さえましょう。

時代	日本の出来事	中国	朝鮮	世界の出来事		
飛鳥時代	593 聖徳太子（厩戸皇子・厩戸王）が摂政となる	隋	高句麗・百濟・新羅	589 隋が中国を統一		
	603 冠位十二階の制定			618 唐が成立		
	604 十七条の憲法の制定					
	607 遣隋使として、小野妹子を派遣			唐		
	630 第1回遣唐使を派遣					
	645 大化の改新が始まる					
	672 壬申の乱					
奈良時代	701 大宝律令の制定	唐	新羅			
	710 平城京へ遷都					
	743 墾田永年私財法の制定					
平安時代	752 東大寺大仏が完成	五代	高麗			
	794 平安京へ遷都					
	797 坂上田村麻呂が征夷大將軍となる					
	894 遣唐使を停止			907 唐が滅びる		
	935 平将門の乱			960 宋が成立		
	939 藤原純友の乱					
	1016 藤原道長が摂政となる			宋	高麗	1096 第1回十字軍の派遣
	1086 白河上皇が院政を始める					
	1156 保元の乱					
	1159 平治の乱					
1167 平清盛が太政大臣となる						

## 東アジアの統一国家

◎隋：581年成立の王朝。南北に分裂していた中国を589年に統一。

\*長江と黄河を結ぶ大運河の建設，高句麗への遠征を行う。

→重税・兵役などで国内が疲弊し，各地で反乱が起こり滅亡。

◎唐：618年に成立し，のちに中国を統一。

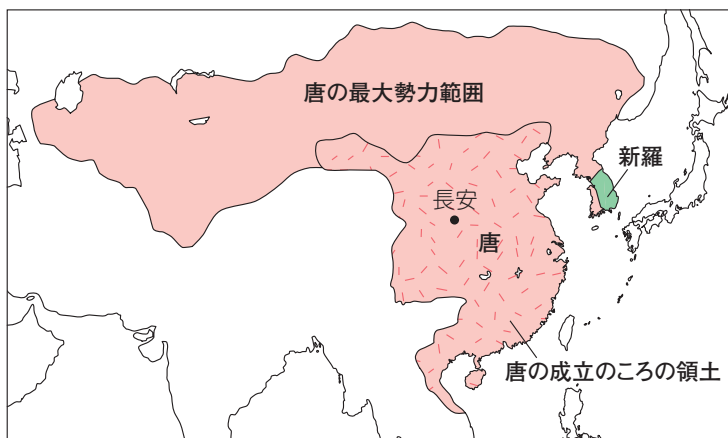
…都は【 1 】(現在の西安<sup>シーアン</sup>)。

\*隋にならい律令(法律)に基づく中央集権政治のしくみを整備。

\*均田制：戸籍をつくり，戸籍に登録した人に土地を分け与える。

…土地を与えられた者は，租庸調の税や兵役を負担。

\*東西交易路の発達：シルクロード(絹の道)などを通じて，アジア各地から商人や留学生などが【 1 】を訪れる。



7世紀ごろの東アジア

◎朝鮮半島：7世紀後半，【 2 】が唐と連合して百済・高句麗を滅ぼし，朝鮮半島を統一。

### 解答欄

👉解答は次のコーナー

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

## 聖徳太子の政治と飛鳥文化

### 【1】聖徳太子の政治

#### ①国内政治の乱れ

\*地方の乱れ：6世紀前半，九州で有力な豪族が反乱を起こす。

\*豪族の争い：有力豪族である【 3 】氏と物部氏が対立。6世紀末に【 3 】氏が物部氏を滅ぼし，勢力を伸ばす。

### 解答欄

👉解答は次のコーナー

3 \_\_\_\_\_

## ②聖徳太子の政治 ▶よく出る

◎聖徳太子：6世紀末，推古天皇の【 4 】となる。

…蘇我馬子と協力し，天皇中心の中央集権国家の建設をめざす。

\*【 5 】：役人の位に応じて冠の色を区別する制度。

…家柄にとらわれず，能力・功績のある者を役人に登用。

\*十七条の憲法：役人の心得を示したもの。

…仏教・儒教の考えを取り入れ，天皇の権威を明らかにする。

\*遣隋使の派遣：小野妹子を遣隋使として，隋の皇帝のもとへ派遣。

⇒多くの留学生や僧が遣隋使に同行し，中国の進んだ制度や文化を学ぶ。

4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_

6 \_\_\_\_\_

## 【2】飛鳥文化

\*飛鳥文化：6世紀末～7世紀初め，聖徳太子の時代を中心に栄える。

…中国・朝鮮・インド・ギリシャなどの文化の影響を受けた，国際色豊かな仏教文化。

\*寺院建築：【 6 】（聖徳太子が建立。現存する世界最古の木造建築物があり，世界遺産に登録されている），四天王寺（聖徳太子が建立），飛鳥寺（蘇我馬子が建立）。

## 大化の改新と律令国家の成立

## 【1】大化の改新

\*聖徳太子死後の国内情勢

- 蘇我氏が権力を独占したことから，蘇我氏への不満が高まる。
- 遣隋使や遣唐使に同行した留学生らが中国の政治制度を学んで帰国。

⇒天皇中心の中央集権国家建設をめざす動きが高まる。

◎大化の改新：645年，【 7 】と中臣鎌足らは，蘇我氏を倒して，政治改革を始める。 ▶よく出る

\*改新の詔：646年，新政の方針と具体的政策を示す。

…【 8 】（土地と人民を国家のものとし，豪族による私有を認めない）の方針や班田収授法（戸籍に基づいて農民に田を与える）を定め，地方支配のしくみや税制度の整備などをめざす。

## 解答欄

▶解答は次のコーナー

7 \_\_\_\_\_

8 \_\_\_\_\_

## 【2】改新政治の進展

\*白村江の戦いはくすきのえ：百濟の復興を助けるため出兵するが，663年，唐・新羅の連合軍に敗れ，日本は朝鮮半島から撤退。

- \* 中大兄皇子は**天智天皇**として即位，都を大津（滋賀県）にうつす。  
…日本で最初の全国的な**戸籍**をつくる。
- \* **壬申の乱**：天智天皇の死後の672年，大海人皇子（天智天皇の弟）と大友皇子（天智天皇の子）が皇位をめぐる争う。  
→大海人皇子が勝利し，【 9 】天皇として即位。
- \* 【 9 】天皇の政治：天皇の地位を高め，皇族を重用した中央集権政治をめざす。  
…このころ，「日本」「天皇」の語が用いられるようになる。
- \* **富本銭**：7世紀後半につくられた，日本で最初の貨幣といわれている。

9 \_\_\_\_\_  
10 \_\_\_\_\_  
11 \_\_\_\_\_

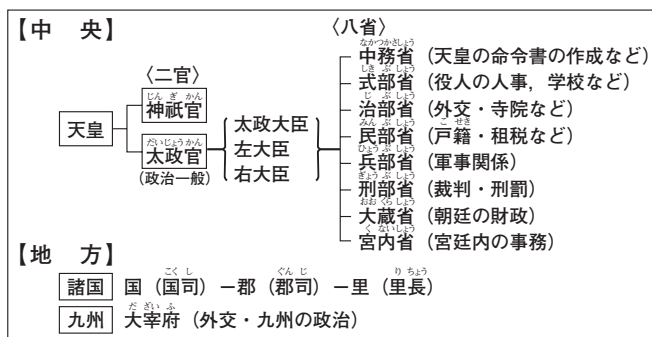
**【3】律令国家の成立 ▶よく出る**

①大宝律令の制定

- \* **大宝律令**：701年，唐の律令にならって制定。  
…【 10 】は刑罰に関する法律，【 11 】は政治などに関する法律。
- \* 律令国家：律令に基づいて運営される中央集権国家。

②律令政治のしくみ

- \* 中央：二官八省を置く。
- \* 地方：国・郡・里に分け，**国司**（中央の貴族を任命）・郡司（地方の豪族を任命）らに治めさせる。九州には**大宰府**を置く。



律令による行政のしくみ

- \* 身分制度：良民（貴族および公民〈農民〉など）と，賤民（奴隷的な身分の者）に分かれる。
- \* **班田収授法**：6年ごとにつくる戸籍をもとに，6歳以上のすべての人々に**口分田**を与える制度。死者の口分田は国に返還する。  
…口分田は，良民男子に2段，良民女子には良民男子の3分の2を与える。

## \* 税制・労役など

- 【 12 】：口分田で収穫した稲の約3%を納める。地方の財源になる。 12 \_\_\_\_\_
- 【 13 】：地方の特産物を納める。中央の財源になる。 \_\_\_\_\_
- 【 14 】：年10日間の労役の代わりに、布（麻布）を納める。中央の財源になる。 13 \_\_\_\_\_
- 雑徭：国司のもとで年間60日以内の労役につく。 \_\_\_\_\_
- 兵役：成人男性3～4人に1人を徴兵し、任期を1年（防人は3年）として各地の軍団の兵士とする。 14 \_\_\_\_\_
- …一部は防人（九州北部の防衛にあたる）、衛士（都の警備にあたる）となる。

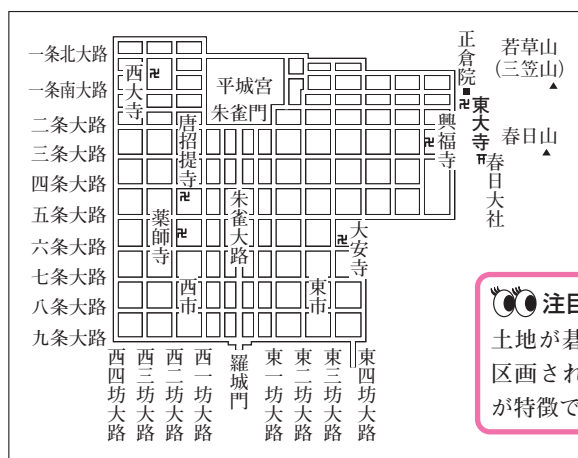
## 奈良時代の政治と文化

## 【1】 平城京遷都

- ◎平城京：710年に遷都。唐の都長安にならい、奈良に造営。碁盤目状に道路が走り、整然と区画される。
- \* 都に東市・西市が置かれ、【 15 】（708年に発行された貨幣）の使用が奨励される。 15 \_\_\_\_\_
- \* 都に通じる道が整備され、駅（の）の制度が整備される。
- ◎地方の支配：東北地方に住む蝦夷を服属させるため、多賀城・秋田城などを築く。
- ◎遣唐使の交流：唐で一生を終えた阿倍仲麻呂、遣唐使に伴われて来日した唐の僧鑑真などが知られる。

## 解答欄

◎解答は次のコーナー



平城京

## 【2】公地公民制の崩壊

- \* 農民の生活：税や労役・兵役の負担で生活は苦しく、口分田を捨て逃亡する者が増える。 16 \_\_\_\_\_
- …農民の逃亡などによって口分田が荒れたり、人口の増加によって口分田が不足したりする。 17 \_\_\_\_\_
- 開墾を奨励する政策をとる。
- \* 三世一身法：723年に発布。新しく開墾した土地は3世代など、期限付きで土地の私有を認める。 18 \_\_\_\_\_
- \* 【 16 】：743年に発布。新しく開墾した土地の永久私有を認める。▶よく出る
- 貴族や寺社が、周辺の農民や逃亡農民などを使って開墾を行い、私有地（莊園）を増やす。 19 \_\_\_\_\_

## 【3】聖武天皇と天平文化

- ①聖武天皇の政治 ▶よく出る
- ◎ 8世紀前半、凶作や伝染病、貴族の争いなどがあい次ぐ。
  - 聖武天皇は、仏教の力によって国を治めることをめざす。
- \* 国ごとに【 17 】・国分尼寺を建立。
- \* 行基などの協力を得て奈良に大仏を造営し、東大寺を建立。
- ②天平文化
- \* 天平文化：8世紀前半の聖武天皇の時代を中心に栄える。
  - …唐の文化の影響を強く受けた、国際色豊かで貴族中心の仏教文化。
- \* 【 18 】：東大寺にある校倉造の宝庫。聖武天皇の遺品などを保存。
  - …ガラスの杯さかずきなど、シルクロード経由で伝わった西アジアやインドの文化の影響が見られるものもある。
- \* 唐の僧の鑑真が来日し、唐招提寺を建立。
- \* 文学

『古事記』	国のおこりや神話・伝承、皇室の系譜などをまとめたもの。
『日本書紀』	
『風土記』	国ごとに、産物や地名の由来、伝承などを記録したもの。
『【 19 】』	天皇・貴族から農民・防人の歌まで約4500首を収録した、日本最古の歌集。 …大伴家持・柿本人麻呂・山上憶良（「貧窮問答歌」）などが代表的な歌人。



## 平安時代初期の政治と文化

### 【1】平安京

#### ①平安京への遷都

\* 貴族の勢力争い、僧の政治への口出しなどにより政治が乱れる。  
→794年、**桓武天皇**が**平安京**へ遷都（これに先立ち、784年には長岡京に遷都）。

\* 平安京遷都の目的：仏教寺院の勢力が強い奈良の平城京を離れ、律令政治を立て直すこと。

#### ②桓武天皇の政治改革

##### ◎律令政治の立て直し

\* 国司の監督を強化し、不正を取り締まるために役人（勘解由使）を置く。

\* 農民の兵役をやめ、郡司の子弟を集めて軍隊（健児）を組織させる。

\* 班田収授を確実にを行うため、口分田の分与を6年ごとから12年ごとに改める。

##### ◎東北地方の支配

\* 【 20 】を征夷大將軍に任じ、朝廷に服属していない東北地方の蝦夷に対して大軍を送る。  
→胆沢城や志波城を築き、朝廷の支配地を拡大。

#### ③新しい仏教 ▶よく出る

\* 9世紀初め、唐で仏教を学んだ僧が帰国し、新仏教を広める。  
▪ **最澄**（伝教大師）：**比叡山**に**延暦寺**を建立し、【 21 】宗を広める。  
▪ **空海**（弘法大師）：**高野山**に**金剛峯寺**を建立し、【 22 】宗を広める。

\* 特色：山中で修行や学問を行い、現世での幸福を得るための儀式や祈りを行う。  
…皇族・貴族に受け入れられ、仏教が民間に広まっていく。

### 【2】摂関政治 ▶よく出る

\* **藤原氏**の進出：政敵となる他の有力貴族を退け、娘を天皇のきさきにして、生まれた子を天皇に立てる。  
…天皇の外戚（母方の親戚）として強大な力をもつ。

\* **摂政**：天皇が女性であったり、幼かったりしたときに、天皇に代わって政治を行う役職。

\* 【 23 】：天皇が成人したのち、天皇を助けて政治を行う役職。

### 解答欄

◎解答は次のコーナー

20

21

22

23

\* **摂関政治**：10世紀から11世紀後半にかけて、藤原氏が摂政・

【 23 】の地位を独占して行った政治。

…11世紀前半の藤原道長とその子藤原頼通の時期が全盛。

24

### 【3】 地方政治の乱れと荘園の広がり

25

#### ① 地方政治の乱れ

\* 10世紀ごろには班田収授が行われなくなる。

\* **地方政治が国司にまかせきりとなる。**

…国司は一定の税を朝廷に納めれば、集めた税の残りを自分の収入にできる。

→自分の収入を増やすために、農民に重税を課すなどの不正を行う国司が増える。

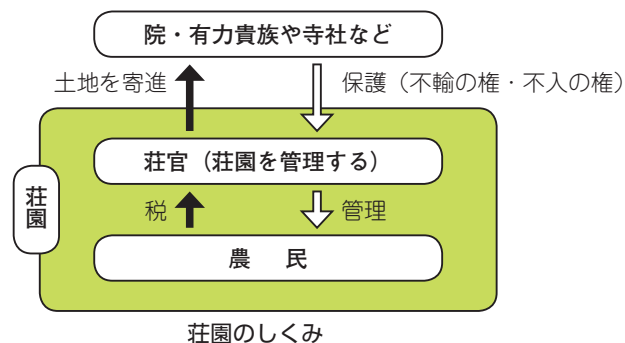
#### ② 荘園の広がり

\* 有力な農民は、国司の圧迫を逃れるため、**土地を貴族や寺社に寄進**するようになる。

…自らは荘官となって、土地への権力を保つ者も現れる。

→**荘園**の増加。

\* 【 24 】（寄進先の貴族や寺社）の権威を背景に、国司へ納める税を免除される不輸の権や、国司が派遣した役人の荘園への立ち入りを拒否できる不入の権をもつ荘園が増える。



### 【4】 東アジアの変化

\* 唐の滅亡：8世紀ごろから内乱などで衰退し、907年に滅亡。その後は、小国が分立。

→10世紀後半、【 25 】が内乱を平定し、国内を統一。

…【 25 】の時代には、朱子学がおこるなど文化が発展。

\* 朝鮮半島：10世紀前半に建国された高麗<sup>コリョ</sup>が、新羅を倒して朝鮮半島を統一。

## 【5】国風文化 ▶よく出る

\*894年、菅原道真の提案により、唐の衰退などを理由に【 26 】 26  
が停止される。

→中国の文化を消化した、新しい日本風の文化が生まれる。

◎国風文化：摂関政治の全盛期に最も栄えた、優美な貴族文化。 27

\*貴族の生活：寝殿造の住居に住み、男性は束帯、女性は女房装束  
を正装とする。

\*文学の発展：漢字をもとにしたかな文字（ひらがな・かたかな） 28  
が生み出され、主に女性の間に広まる。

『古今和歌集』	紀貫之らが編纂した、最初の勅撰和歌集。
『土佐日記』	紀貫之がかな文字を使って書いた旅日記。
『【 27 】』	紫式部が著した、光源氏が主人公の長編物語。
『【 28 】』	清少納言が、宮廷生活で見聞きしたことなどを記した随筆。

\*絵画：大和絵（日本の風景・風俗をえがいた絵）が発達。

## 【6】浄土信仰の広まり

\*浄土信仰：念仏を唱えて阿彌陀仏あみだぶつを信じれば、死後に極楽浄土に  
生まれ変われるという信仰。

…政治・社会の乱れによる不安が高まる中で、空也などが民衆に  
広める。

\*阿彌陀堂や阿彌陀仏の像など、浄土信仰に関連した美術が生み出  
される。

…藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂、奥州藤原氏が建立した中尊  
寺金色堂など。

## 武士のおこりと院政

### 【1】武士のおこりと成長

①武士のおこり

\*地方政治が乱れる中、豪族や有力農民が土地を守るために武装す  
るようになる。都では、朝廷の武官が宮中の警備や貴族の身辺・  
屋敷の警護にあたる。

⇨武士となる。

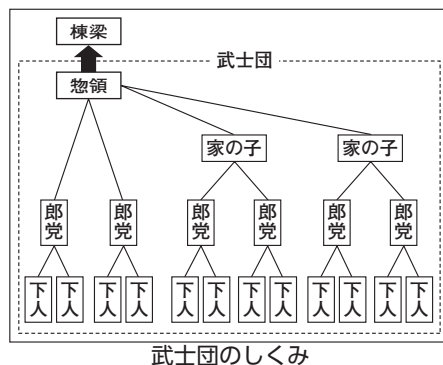
◎武士団の形成：一族を中心に小武士団を形成。さらに、地方に住  
みついた皇族や貴族の子孫などを棟梁として、大武士団を形成。

…【 29 】（清和天皇の子孫）、平氏（桓武天皇の子孫）がとく  
に有力となる。

### 解答欄

◎解答は次のコーナー

29



30

31

\* **平将門の乱**：935年，平将門が関東地方で乱を起こす。

\* **【 30 】の乱**：939年，【 30 】が瀬戸内海で乱を起こす。

⇒朝廷は，2つの乱を武士の力を借りて鎮める。

## ②武士の成長

\* 源氏が，東北地方で起こった前九年合戦（前九年の役；1051～62年）・後三年合戦（後三年の役；1083～87年）を鎮める。

→源氏が東国に勢力を伸ばす。

\* 2つの戦乱の後，東北地方では，豪族である**奥州藤原氏**が平泉（岩手県）を拠点に勢力を伸ばす。

## 【2】院政

### ①院政の開始

\* 後三条天皇の政治：後三条天皇は藤原氏と血縁関係が薄く，自ら政治を行った。

…摂関家の荘園を整理するなど，藤原氏の勢力を抑える政策を行う。

\* **院政**：天皇の位を退いた上皇（出家した場合は法皇）が，その住まいである院で行う政治。

…1086年，【 31 】天皇が皇位を子の堀河天皇に譲り，院政を開始。

### ②院政の展開

\* 源氏や平氏などの武士を用いて，院の警護にあたらせる。

\* 院に大量の荘園が寄進されるようになり，院はさまざまな権利を与えて荘園を保護。

\* 寺社も多くの荘園をもち，武装した僧を僧兵として組織。

⇒院・貴族が僧兵に対抗するために武士を用いたことで，武士の勢力拡大を招く。

### 【3】平氏政権

#### ①保元の乱と平治の乱

\*【 32 】の乱：1156年，天皇と上皇の対立に藤原氏内部の争いがからんで起こる。

→平清盛や源義朝の活躍により，天皇方が勝利。

\*【 33 】の乱：1159年，上皇に仕える藤原氏どうしの争いに，平清盛と源義朝の対立が結びついて起こる。

→平清盛が勝利。武士が政治におよぼす力が大きくなり，平清盛の地位や権力が急速に高まる。

#### ②平氏政権の誕生 ▶よく出る

\*平清盛は武士としてはじめて太政大臣となり，平氏一族が朝廷の高位高官を独占。

…藤原氏の政治と同様に，娘を天皇のきさきとして天皇の外戚となり，広大な荘園を領有。

\*日宋貿易：平清盛は【 34 】（現在の神戸港）を修築し，中国の宋との貿易を行い，大きな利益を上げる。

32

33

34

## 徹底整理の解答

- |            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 1 長安       | 31 白河                           |
| 2 新羅       | 32 保元                           |
| 3 蘇我       | 33 平治                           |
| 4 摂政       | 34 <small>おおわだのつまり</small> 大輪田泊 |
| 5 冠位十二階    |                                 |
| 6 法隆寺      |                                 |
| 7 中大兄皇子    |                                 |
| 8 公地公民     |                                 |
| 9 天武       |                                 |
| 10 律       |                                 |
| 11 令       |                                 |
| 12 租       |                                 |
| 13 調       |                                 |
| 14 庸       |                                 |
| 15 和同開珎    |                                 |
| 16 墾田永年私財法 |                                 |
| 17 国分寺     |                                 |
| 18 正倉院     |                                 |
| 19 万葉集     |                                 |
| 20 坂上田村麻呂  |                                 |
| 21 天台      |                                 |
| 22 真言      |                                 |
| 23 関白      |                                 |
| 24 莊園領主    |                                 |
| 25 宋       |                                 |
| 26 遣唐使     |                                 |
| 27 源氏物語    |                                 |
| 28 枕草子     |                                 |
| 29 源氏      |                                 |
| 30 藤原純友    |                                 |

## 徹底演習 入試レベルの実戦問題に取り組もう！

飛鳥時代～平安時代を取り上げた次の演習問題に挑戦し、入試にそのまま使える即戦力を身につけましょう。できなかった問題については、**解説**や**徹底整理**で復習するのはもちろんのこと、教科書なども使って、知識を補充しておきましょう。

1 次の文を読み、下の問に答えなさい。

- A 〈人物a〉は、①天皇を助けて政務を行った。〈人物a〉が活躍した時代には、冠位十二階の制や十七条の憲法などが制定された。また、この時代には、中国の進んだ文化を取り入れるため、小野妹子らが遣隋使として派遣された。
- B 〈人物b〉は仏教の力で国を治めようと考え、国ごとに国分寺・国分尼寺を、都には②東大寺を建立した。この時代には、国際色豊かな天平文化が栄えた。
- C 〈人物c〉やその父の時代は（あ）政治の全盛期であった。この時代には浄土信仰が盛んであり、〈人物c〉は宇治に平等院鳳凰堂とよばれる阿弥陀堂を建てた。
- D 〈人物d〉は平安京に遷都し、律令政治の立て直しにつとめた。国司の不正を取り締まって農民の兵役や税の負担を軽くしたほか、③東北地方の支配にも力を入れた。

- (1) 下線部①に関連して、〈人物a〉とともに政務にあたった豪族の名を書きなさい。  
[ ]
- (2) 下線部②に関連して、〈人物b〉の死後、その愛用品や大仏開眼供養で使われた品物などが「東大寺」に献納されました。これらの品物を納めた宝庫の名を書きなさい。  
[ ]
- (3) 文中の（あ）に入れるのに最も適当な語句を書きなさい。  
[ ]
- (4) 下線部③に関連して、「東北地方」に古くから住んでいた人々を、当時の朝廷は何とよんでいましたか。  
[ ]
- (5) 〈人物a〉～〈人物d〉を活躍した年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。なお、解答にさいしては、記号のみを書くこと。  
[ → → → ]  
(Z会オリジナル問題)

2 【三重県入試問題（改）】

次の文は、古代の文化の特色の一部についてまとめたものである。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

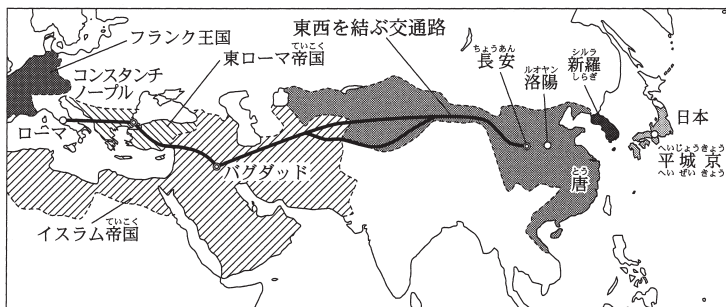
① 仏教中心の文化には② 国際的影響が見られたが、やがて③ 国風文化が貴族の中から生まれた。

(1) 下線部①について、飛鳥時代の日本における仏教のようすを述べた文として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 阿彌陀仏にすがって死後に極楽浄土に生まれ変わろうという浄土信仰が広がった。  
 イ 行基が民衆とともに橋や用水路をつくり、民衆のあいだに仏教を広めた。  
 ウ 渡来人がもたらした技術によって仏像や法隆寺などの寺が作られた。  
 エ 座禅により自力でさとりを開く禅宗が、宋西や道元により宋から伝えられた。

{ }

(2) 下線部②について、下の資料の——は、7～8世紀ごろの東西を結ぶ交通路の1つを示している。資料に示した東西を結ぶ交通路を何というか、書きなさい。



{ }

(3) 下線部③について、平安時代にかな文字で書かれた作品として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 『万葉集』      イ 『古事記』      ウ 『日本書紀』      エ 『源氏物語』

{ }





## 徹底演習 解答・解説

1

## 解答

- (1) 蘇我馬子      (2) 正倉院      (3) 摂関  
 (4) 蝦夷      (5) a → b → d → c

## 解説

- (1) 〈人物a〉は聖徳太子（厩戸皇子・厩戸王）です。彼の叔母にあたる推古天皇が、当時朝廷で権力を握っていた蘇我馬子に推されて592年に即位すると、翌593年、聖徳太子は摂政となり、蘇我馬子とともに内外の政治を整備して、天皇を中心とする国づくりをめざしました。
- (2) 〈人物b〉は聖武天皇です。聖武天皇は仏教の力で国を守ることをめざし、各地に国分寺・国分尼寺を建てたほか、大仏の造立に着手しました。その死後、聖武天皇の愛用品や、752年の大仏開眼供養の法要で用いられた品物などが、東大寺の正倉院に納められました。
- (3) 〈人物c〉は藤原頼通です。9世紀後半から、娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇の地位につけることによって朝廷での勢力を強めた藤原氏は、一族で摂政および関白という重要な地位を独占し、政治の実権を握る摂関政治を行いました。摂関政治は、藤原道長・藤原頼通親子の時代（1010年代～1060年代）に最盛期を迎えましたが、11世紀後半の院政の開始によって実質的に終わりました。
- (4) 〈人物d〉は桓武天皇です。桓武天皇は、政治に介入するようになった僧侶などの勢力を排除するため、京都南部に長岡京を造営し、さらに794年に平安京に都をうつして、律令政治の立て直しをはかりました。平安京への遷都以後の約400年間を平安時代といいます。

当時、東北地方に古くから住んでいた人々は蝦夷とよばれていました。彼らは大和政権（ヤマト王権）に服属しなかったため、朝廷は奈良時代からたびたび兵を派遣し、多賀城や秋田城などを築いて、徐々に東北地方に対する支配を強めました。そして桓武天皇の時代の8世紀末から9世紀初めには、征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂によって、東北地方の支配が固められました。

## 入試に向けてプラスα

摂政は、天皇が幼少である場合や女性である場合に政務を代行する役職。関白は成人した天皇を補佐する役職です。

- (5) 〈人物 a〉の聖徳太子は飛鳥時代に活躍した人物、〈人物 b〉の聖武天皇は奈良時代前半期の天皇、〈人物 c〉の藤原頼通は平安時代中期に活躍した人物、〈人物 d〉の桓武天皇は奈良時代末期から平安時代にかけての天皇です。

2

## 解答

- (1) ウ (2) シルクロード (絹の道) (3) エ

## 解説

- (1) 飛鳥時代は、6世紀末から8世紀初めごろをさします。飛鳥時代は、聖徳太子が推古天皇のもとで蘇我馬子と協力して政治を進めた時期であり、飛鳥文化とよばれる日本で最初の仏教文化が栄えました。とくに、聖徳太子は**法隆寺**や中宮寺などの寺院を建立しました。また、法隆寺をはじめとする寺院には、**渡来人**の子孫とされる人物がつくった仏像など、中国や朝鮮の影響を受けたと考えられる作品が収められています。

なお、アは平安時代中期以降、イは奈良時代前期、エは鎌倉時代のようなすです。

- (2) 中央アジアなどを経てユーラシア大陸の東西を結ぶ交通路は、中国から西方に絹を運ぶルートであったことから、**シルクロード** (絹の道) とよばれました。このシルクロードを通じて、中国からは絹、西方からは馬やぶどうがもたらされたほか、アジア各地から商人や留学生などが唐の都長安を訪れました。

- (3) 平安時代中期の894年に遣唐使が停止されると、大陸文化の影響が弱まり、それまでに取り入れた大陸文化を基礎として、都の貴族を中心に日本の風土や生活に合った文化が作り出されました。この時期の文化は国風文化とよばれ、摂関政治の全盛期に最も栄えました。かな文字はこのような中で生み出された文字で、漢字をもとにしてつくられました。『源氏物語』は、平安時代に紫式部によってかな文字で書かれた長編物語です。

なお、アの『万葉集』は、日本最古の歌集で、奈良時代につくられました。イの『古事記』とウの『日本書紀』は、国のおこりや神話・伝承、皇室の系譜などをまとめた歴史書で、奈良時代に書かれました。

## ◀入試に向けてプラスα

紫式部や清少納言のように、宮廷に仕えた女性による文学作品が多いのも、国風文化の特徴です。

3

## 解答

(1) Aーウ Bーア Cーイ (2) 大宝律令

## 解説

- (1) 4世紀ごろから、朝鮮半島では北部を支配下に置く高句麗、南東部を支配する新羅、南西部を支配する百済の三国が勢力を争う時代が続いていました。7世紀になると、新羅は唐と結んで勢力を拡大し、660年には百済を攻め滅ぼしました。百済と友好関係を結んでいた日本は、663年、百済の再興を支援するために出兵しましたが、唐・新羅の連合軍に敗れ、朝鮮半島から撤退しました。この戦いを白村江の戦いといいます。その後、新羅は668年に唐とともに高句麗を滅ぼし、さらに朝鮮半島から唐の勢力を追い出して、676年には朝鮮半島を統一しました。
- (2) 7世紀ごろの日本では、聖徳太子らによる政治、中大兄皇子らによる大化の改新など、天皇を中心とする中央集権国家をめざした動きが進みました。701年には大宝律令が制定され、日本も唐のように、律令に基づいて運営される律令国家となりました。

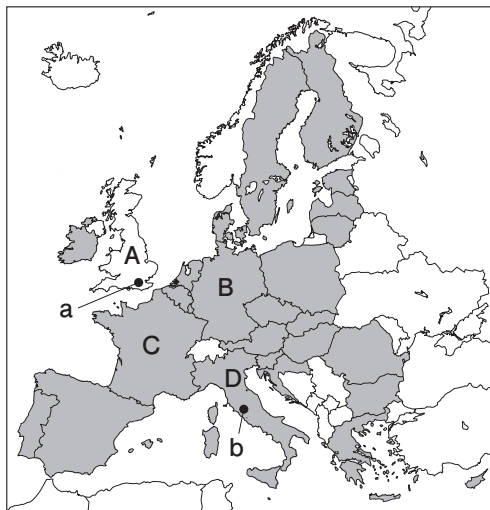
## 入試特訓 世界地理2, 古代2・中世

### 添削問題 解答解説

1

次の地図を見て、下の問に答えなさい。

(配点 25)



- (1) 地図中の■の国々によって構成される国際組織についての説明として適当でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。(5点)

- ア 多くの加盟国が協定を結び、パスポートの検査なしで国境を通過できるようにした。
- イ 発足時と比べて、加盟国数は増加した。
- ウ 圏内での関税を撤廃したため、加盟国間の貿易が盛んになった。
- エ すべての加盟国で、共通の通貨が使用されている。

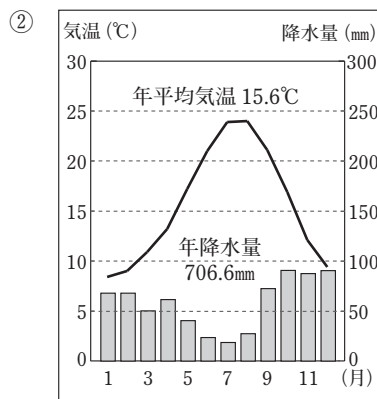
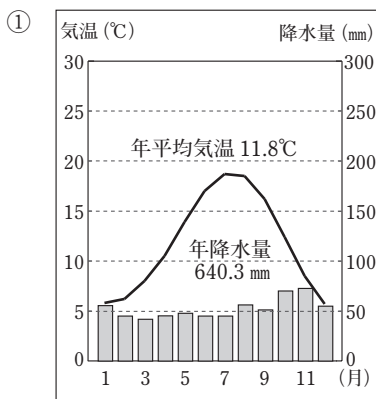
- (2) 次の表は、地図中のA～Dの国の人口、1人あたりの国民総所得、小麦の生産量、乗用車の生産台数を示したものです。地図中のBの国にあてはまるものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。(5点)

国	人口 (千人)	1人あたりの 国民総所得 (ドル)	小麦の生産量 (千t)	乗用車の 生産台数 (千台)
ア	59501	31622	6716	452
イ	67059	40114	9658	921
ウ	64480	39573	30144	928
エ	83329	47186	22172	3515

(2020年；国連資料などより)

- (3) 次の文は、ある樹木について述べたものです。この樹木の栽培に適した気候の地域に位置するのは、地図中の a・b の都市のうちどちらですか。都市の記号と、その都市の気温・降水量を示したグラフ①・②の組み合わせとして正しいものを、下のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。(5点)

この樹木は、果実をとるために古くから栽培されている。熟する前の緑色の実は塩漬しおづけにして食べられる。また、熟した黒色の実からとられた油は、食用のほか、せっけんや化粧品などの原料としても利用されている。



(「理科年表」より)

ア a-①      イ a-②      ウ b-①      エ b-②

- (4) 地図中のCの国では、穀物や飼料作物の栽培と、肉用牛・豚などの飼育を組み合わせる農業が盛んです。このような農業を何といいますか。漢字で書きなさい。(4点)
- (5) 地図に示された国々の多くでは酸性雨が問題視されています。酸性雨がもたらす被害にはどのようなものがあるか、例を2つあげて簡単に説明しなさい。(6点)

⇒ 添削問題の後の **論述問題・解答のルール** を参照

1

## 解答

- (1) 工 (2) 工 (3) 工 (4) 混合農業  
 (5) 森林の樹木が枯れたり、湖沼の魚などが死滅したりする。

## 解説

(1) 地図中の■の国々によって構成される国際組織はEU（ヨーロッパ連合）です。1958年に組織されたEEC（ヨーロッパ経済共同体）などをもとにして、1967年にEC（ヨーロッパ共同体）が形成され、1993年にEUへと発展しました。EUは加盟国間の政治・経済・社会の統合をめざしています。

ア（正）EU加盟国の多くは、協定を結び、国の間での自由な行き来を認めました。そのため、国境を越えて旅行や通勤・通学する人が増えました。

イ（正）EU発足時の加盟国は12か国でしたが、その後加盟国が増加し、2013年には28か国になりました。なお、Aのイギリスは発足当時の加盟国でしたが、2020年にEUから脱退しました。

ウ（正）他国からの輸入品には関税をかけることが一般的ですが、EU加盟国間では関税が撤廃されています。そのため、加盟国どうしの貿易が活発になりました。

エ（誤）EUの共通通貨であるユーロは、すべての加盟国で使用されているわけではありません。一部の国では、ユーロを導入せずに自国の通貨を使用しています。

(2) 地図中のAはイギリス、Bはドイツ、Cはフランス、Dはイタリアです。Bのドイツは、乗用車の生産台数が多いエがあてはまります。ドイツはEU最大の工業国です。

なお、Cのフランスは小麦の生産量が最も多いウ、Aのイギリスは人口や1人あたりの国民総所得がドイツに次いで多いイ、Dのイタリアは残るアがあてはまります。

## 入試に向けてプラスα

EU加盟国が増加した結果、EU内部で経済などの地域格差が大きくなっています。

## ✔ここもチェック

ドイツでは、ルール工業地域が古くから発達してきましたが、現在ではミュンヘンなどで先端技術（ハイテク）産業が成長しています。

- (3) 問題の文はオリーブについての説明です。オリーブは地中海性気候の地域で主に栽培されます。a・bのうち地中海性気候の地域にあるのはbで、イタリアのローマにあたります。また、地中海性気候の気温・降水量を示したグラフは②で、夏に乾燥し、冬に雨が多いという特徴が見られます。

なお、①はイギリスのロンドン(a)のグラフで、年間を通して安定した降水があり、夏と冬で気温・降水量の差が小さいという西岸海洋性気候の特徴を示しています。

- (4) ヨーロッパでは、フランス(地図中のC)やドイツ(地図中のB)など、西岸海洋性気候の地域を中心に混合農業とよばれる農業が盛んです。混合農業とは、小麦・ライ麦・とうもろこしといった食用作物・飼料作物の栽培と、牛・豚などの家畜の飼育を組み合わせた農業のことをいいます。

✔ここもチェック

地域により気候や生活様式が異なるヨーロッパでは、混合農業のほか、地中海式農業・酪農など、各地域に適した農業が行われています。

- (5) ✔ 論述問題をチェック!

【問(一部のみ掲載)】酸性雨がもたらす被害にはどのようなものがあるか、例を2つあげて簡単に説明しなさい。

【解答】

森林の樹木が枯れたり、  
 湖沼の魚などが死滅したりする。  
 どのような「被害」かを説明する。 例を2つあげる。

酸性雨は、工場や自動車から排出された硫黄酸化物や窒素酸化物が、大気中で化学変化を起し、硫酸や硝酸になり雨粒に溶け込むことで発生します。酸性雨によって、樹木が枯れたり、湖沼が酸性になり魚などが死んだりするほか、建造物のコンクリートや金具が溶け出すなどの被害が生じています。

入試に向けてプラスα

ヨーロッパでは環境問題への意識が高い国が多く、リサイクルやパークアンドライド、風力発電などさまざまな取り組みが行われています。